



ワーク・ライフ・バランスを確立し、魅力あふれる研究所をめざします！

独立行政法人 森林総合研究所

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/>

応援します！家族責任を持つ女性研究者

<http://encr.ffpri.affrc.go.jp/>

職員構成：研究職 483(50)名(10%)、一般職 827(86)名、技術専門職 25名、計 1335(136)名 ()内は女性
沿革：明治 38 年農商務省山林局林業試験場として目黒に発足、昭和 58 年つくばに移転、同 63 年森林総合研究所に名称変更、平成 13 年独立行政法人となる。同 19 年林木育種センターと統合、同 20 年森林農地整備センターを承継。



エンカレッジプログラム

推進体制の整備

- 柔軟な勤務を可能とする勤務・休暇制度の検討
- 子育て支援などの相談窓口の設置

育児・介護

サポートシステム整備

- 育児・介護研究者に対する研究支援 (PC、研究用ソフトウェアの貸与、研究補助者の雇用)
- 所内一時預かり保育所の開設
- 出張・緊急時のサポート体制整備
- 保育・介護等の情報提供

IT 環境の整備

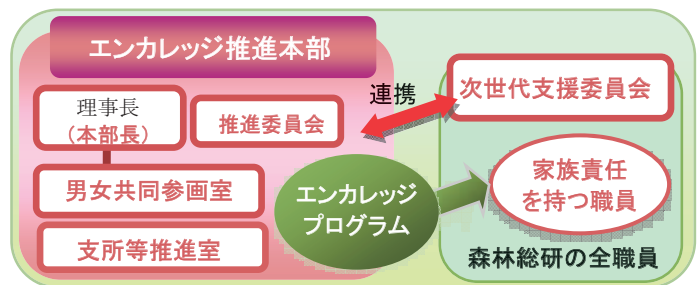
- テレビ会議システムの構築(本所～支所間)
- WEB ミーティングシステムの構築(研究所～自宅間)

次世代研究者育成支援

- 男女共同参画意識の啓発活動(所内意識調査、研修、シンポジウムの開催)
- 女性研究者応募促進のための広報活動
- 採用時の家族責任履歴の配慮

達成目標

- 裁量労働制の採用 (研究職) を実現
- 出張・転勤、緊急時のサポート体制の 100%整備(本支所)
- IT 環境の 100%整備(本～支所間、研究所～自宅間)
- 応募者・採用者の女性比率を 30%に→ 関連大学の女子学生比率と同等に
- 家族責任が原因となる中途退職者ゼロに



▲TV 会議による委員会



▲公開シンポジウム(2008.1.28)

応援します！
家族責任を持つ女性研究者
エンカレッジモデル
FFPRI Encourage Model



総括責任者名 鈴木和夫 (理事長)

実施責任者名 金指あや子 (男女共同参画室長)

推進室等の名称・連絡先

男女共同参画室 (エンカレッジ推進室)

TEL:029-829-8360 E-mail:geneq@ffpri.affrc.go.jp

独立行政法人 森林総合研究所

http://encr.ffpri.affrc.go.jp/
お問い合わせ：男女共同参画室
geneq@ffpri.affrc.go.jp

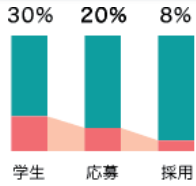


応援します！
家族責任を持つ女性研究者
エンカレッジモデル
FFPRI Encourage Model

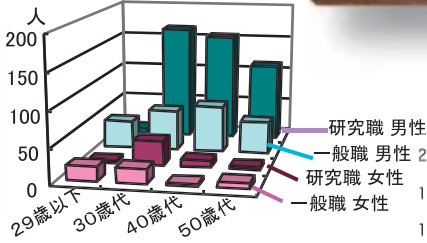


現状と問題点

大学・大学院の森林関連学部での女子学生比率は3割を超えるが、森林総研における最近3年間の女性採用比率は8%

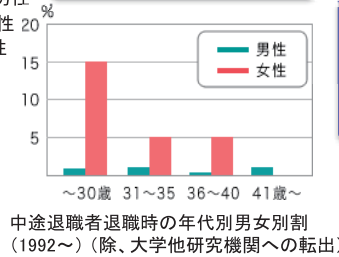


女性割合の推移



森林総研における女性研究職員は1割であり、その約7割が出産・育児年代の30代

中途退職者のほとんどが女性研究者

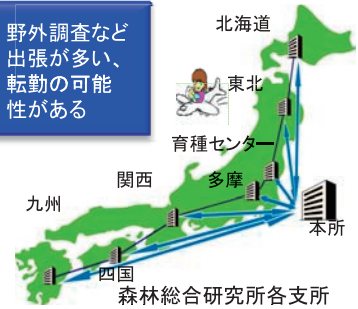


中途退職者退職時の年代別男女別割 (1992~) (除、大学他研究機関への転出)



野外調査の様子

野外調査など出張が多い、転勤の可能性がある



女性研究者のキャリア形成が困難

実施内容

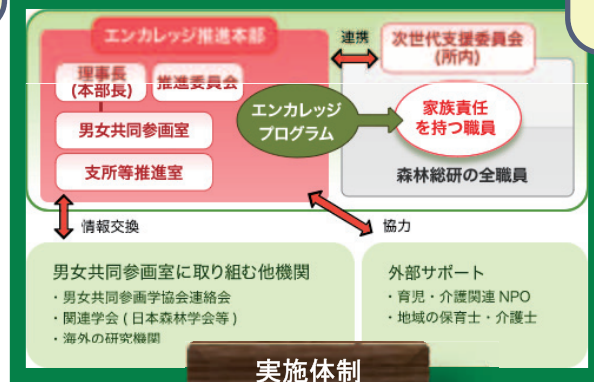
① 推進体制の整備

- ・時間短縮勤務の検討
- ・休暇制度の改善検討
- ・子育て支援などの相談窓口設置
- ・裁量労働制の導入 (研究職員)



② 育児・介護のサポートシステム

- ・育児・介護研究者に対する研究支援 (PC, 研究用ソフトウェアの貸与、研究補助者の雇用)
- ・所内保育所の開設
- ・出張・緊急時サポート体制整備
- ・保育・介護等の情報提供



H19 研究支援状況 (支援を受けた人数)

	女性		男性		計
	育児	他	育児	他	
PC貸与	4	5	1		10
研究用ソフト貸与	4	6	2		12
研究補助員	3	4	1		8
委託分析作業	1	1			2

実施体制

③ IT環境の整備

- ・テレビ会議システムの構築 (本所一支部間)
- ・Webミーティングシステムの構築 (研究所一自宅間)

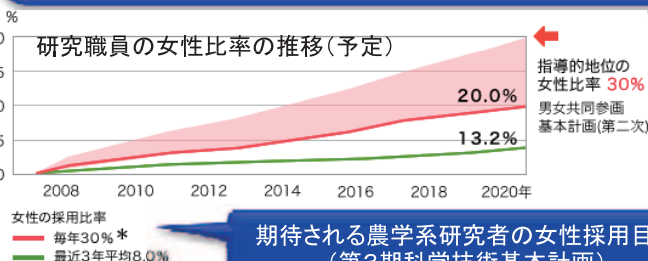


④ 次世代研究者育成支援

- ・男女共同参画意識の啓発活動 (所内意識調査、研修、シンポジウムの開催)
- ・女性研究者応募促進のための広報活動
- ・採用時の家族責任履歴の配慮

達成目標

1. 出張・転勤、緊急時のサポート体制の100%整備 (本支所)
2. IT環境の100%整備 (本一支部間、研究所一自宅間)
3. 応募者・採用者の女性比率を30%に
→ 将来的には全研究職員の女性比率を関連大学のそれと同等に
4. 家族責任が原因となる中途退職者ゼロに



期待される農学系研究者の女性採用目標 (第3期科学技術基本計画)



エンカレッジモデルの特徴

- ・男性や事務部門職員も利用できる
- ・子育てだけでなく、介護に関する支援も含む
- ・情報格差をなくし、在宅の勉強や論文執筆を支援する (Web会議、情報の共有等)
- ・共働き家庭でなくても、配偶者の病気や通院時の育児サポートなど柔軟に対応